

ジョージアに対する円借款「東西ハイウェイ整備計画 (第二期)」に関する書簡の交換



3月7日、トビリシにおいて、貝谷俊男駐ジョージア特命全権大使とミヘイル・ジャンリゼ外務大臣との間で44億1,000万円を限度とする額の円借款「東西ハイウェイ整備計画(第二期)」の供与に関する書簡の署名・交換が行われました。また、伏見勝利JICAウズベキスタン事務所長とノダル・ハドゥリ財務大臣との間で借款契約の署名・交換が行われました。

この計画は、ジョージアの幹線道路である東西ハイウェイの一部であるイメレティ州サムトレディア～クタイシ～ゼスタフォニ間にてバイパスの建設や既存道路の改修等を行うものです(第一期計画に対する円借款は2009年に177億2,200万円を限度として供与されました)。署名式では、日本の支援に対してジョージア側から感謝の言葉が述べられるとともに、日本側からは、この計画の実施によりジョージアの輸送力増強、物流の効率化が実現し、もって経済発展に寄与することへの期待が表明されました。

供与条件は以下のとおりです。

- 1 金利:年1.4%(コンサルティング・サービス部分については0.01%)
- 2 償還期間:25年(7年の据置期間を含む。)
- 3 調達条件:一般アンタイト